

(様式例)

令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・全学年で、達成率、観点別正答率において、目標値を下回ってしまった。

(2) 課題

- ・家庭学習の定着と復習の徹底
- ・基礎的な知識・理解の定着
- ・思考・判断・表現力の育成

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	目標値より6.7ポイント下回った。		
第2学年	目標値より4.4ポイント下回った。	目標値より0.8ポイント下回った。 (第1学年時)	
第3学年	目標値より4.2ポイント下回った。	目標値を5.2ポイント下回る。 (第2学年時)	目標値を0.1ポイント下回る。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より6ポイント下回った。	目標値より8.9ポイント下回った。	目標値より4.8ポイント下回った。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より9.2ポイント下回った。	目標値より1.8ポイント下回った。	目標値より0.7ポイント下回った。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より5.3ポイント下回った。	目標値より3.1ポイント下回った。	目標値より5.7ポイント下回った。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での既習事項との関連をもたせたり、単元ごとに確認テストを行い知識の定着を図る。 ・学習課題に応じた資料や統計、グラフを活用し、技能の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働学習を行うことで、個人の考えを共有し合い他者の考えも取り入れながら学びを深め、思考・判断・表現する力を向上させる。 ・タブレット端末を活用し、意見や発表を効果的に他社に伝えられるような表現力を身に着ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味・関心を深める時事問題や社会生活に関わる事象から課題設定を行うことで、主体的に学習に取り組む態度を養う。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに確認テストを行い、知識の定着を図る。 ・学習課題に応じた資料や統計、地図を活用し読み取る力の向上を図る。 ・タブレットを活用し調べたことや個人の考えをまとめることを向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習や調べ学習を適宜行い、個人の考えを共有したり他者の考えを取り入れることで考えを深め、思考・判断・表現する力を向上させる。またその際、タブレットの活用を効果的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味・関心を深める時事問題や社会生活に関わる事象から課題設定を行い、授業で身に付けた知識や技能を活用し、社会と主体的に関わる態度を養う。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに確認テストを行い、知識の定着を図る。 ・資料や統計、グラフなどを活用し、タブレットを使って自らの考えをまとめることで、技能の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料や統計、グラフを活用し、自分の考えをまとめ、グループ内で共有する力を身に着ける。 ・タブレット端末を活用して表現方法の選択、工夫を身に着ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活と授業内容を結び付け、生徒に興味・関心をもたせ、主体的に学習に取り組めるようにしていく。